

労働力調査（詳細集計）2023年（令和5年）平均結果の要約

1. 2023年平均の正規の職員・従業員数は3606万人と、前年に比べ18万人の増加（9年連続の増加）

非正規の職員・従業員数は2124万人と23万人の増加（2年連続の増加）

- ・正規の職員・従業員を男女別にみると、男性は2338万人と1万人の減少、女性は1267万人と18万人の増加
- ・非正規の職員・従業員を男女別にみると、男性は683万人と14万人の増加、女性は1441万人と9万人の増加

2. 非正規の職員・従業員について主な理由で最も多いものは、「自分の都合のよい時間に働きたいから」で712万人

- ・男性は「自分の都合のよい時間に働きたいから」とした者が209万人と最も多く、前年に比べ10万人の増加、次いで「正規の職員・従業員の仕事がないから」とした者が99万人と4万人の減少
- ・女性は「自分の都合のよい時間に働きたいから」とした者が502万人と最も多く、前年に比べ22万人の増加、次いで「家計の補助・学費等を得たいから」とした者が295万人と13万人の減少

表1 非正規の職員・従業員について主な理由別の内訳及び推移

	実数（万人）								割合（%、ポイント）								
	総数	自分の都合のよい時間に働きたいから	家計の補助・学費等を得たいから	家事・育児・介護等と両立しやすいから	通勤時間が短いから	専門的な技能等をいかせるから	正規の職員・従業員の仕事がないから	その他	総数	自分の都合のよい時間に働きたいから	家計の補助・学費等を得たいから	家事・育児・介護等と両立しやすいから	通勤時間が短いから	専門的な技能等をいかせるから	正規の職員・従業員の仕事がないから	その他	
実数	2019年平均	2173	627	388	276	95	150	237	275	-	30.6	19.0	13.5	4.6	7.3	11.6	13.4
	2020	2100	622	395	241	95	160	231	260	-	31.0	19.8	12.0	4.8	8.0	11.5	13.0
	2021	2075	657	387	219	96	164	216	266	-	32.8	19.3	10.9	4.8	8.2	10.7	13.3
	2022	2101	679	389	222	95	165	210	269	-	33.5	19.2	10.9	4.7	8.1	10.3	13.3
	2023	2124	712	376	229	105	166	196	267	-	34.7	18.3	11.2	5.1	8.1	9.6	13.0
対前年増減	2019年平均	47	28	-7	21	4	3	-19	10	-	0.7	-0.7	0.8	0.1	0.0	-1.2	0.2
	2020	-73	-5	7	-35	0	10	-6	-15	-	0.4	0.8	-1.5	0.2	0.7	-0.1	-0.4
	2021	-25	35	-8	-22	1	4	-15	6	-	1.8	-0.5	-1.1	0.0	0.2	-0.8	0.3
	2022	26	22	2	3	-1	1	-6	3	-	0.7	-0.1	0.0	-0.1	-0.1	-0.4	0.0
	2023	23	33	-13	7	10	1	-14	-2	-	1.2	-0.9	0.3	0.4	0.0	-0.7	-0.3

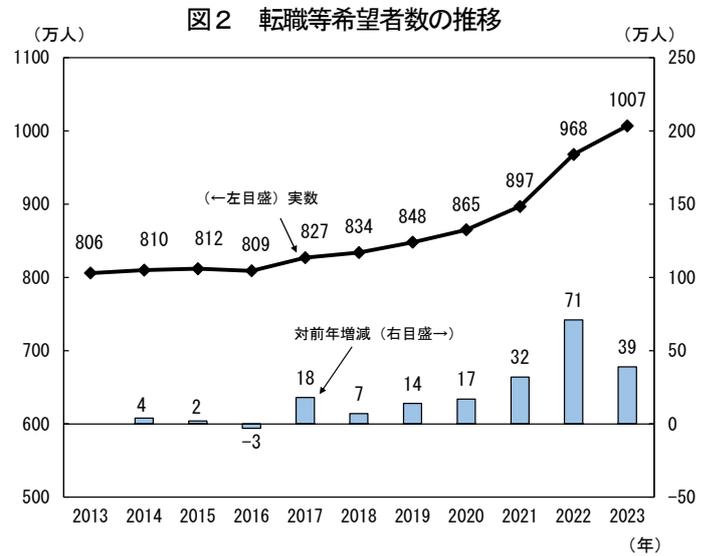
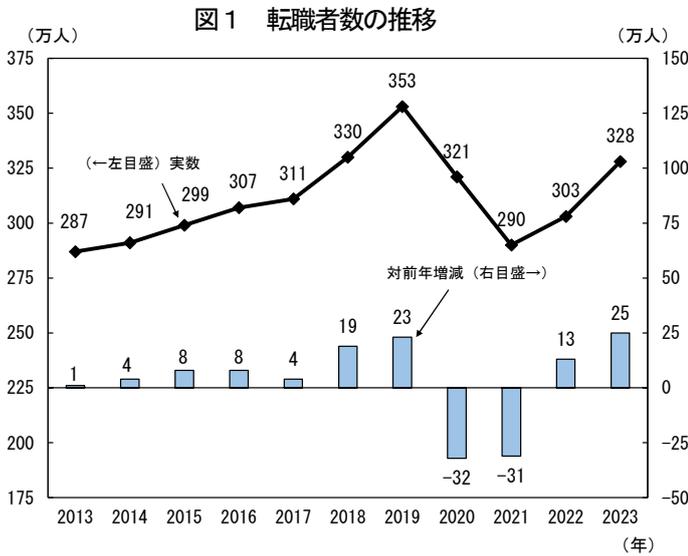
注) 1. 非正規の職員・従業員には、「現職の雇用形態について主な理由不詳」を含む。
 2. 割合は、現職の雇用形態について主な理由別内訳の合計に占める割合を示す。

3. 失業期間が1年以上の失業者数は59万人と、前年に比べ7万人の減少

- ・失業者数は198万人と前年と同数
- ・失業期間が3か月未満の者は82万人と7万人の増加

4. 転職者数は328万人と、前年に比べ25万人の増加（2年連続の増加）
転職等希望者数は1007万人と39万人の増加（7年連続の増加）

- ・転職者を男女別にみると、男性は151万人と12万人の増加、女性は177万人と14万人の増加
- ・転職等希望者を男女別にみると、男性は511万人と14万人の増加、女性は496万人と25万人の増加



注) 転職等希望者については、2013年から詳細集計での集計を開始した。そのため、対前年増減の算出は2014年以降となる。

5. 追加就労希望就業者数は190万人と、前年に比べ5万人の減少
未活用労働指標のうち、最も包括的に未活用労働を捉えた未活用労働指標4（LU4）は6.1%と、前年に比べ0.1ポイントの低下

- ・非労働力人口（4061万人）のうち、潜在労働力人口は36万人と1万人の増加
- ・未活用労働指標4（LU4）を男女別にみると、男性は4.8%と0.2ポイントの低下、女性は7.6%と前年と同率

表2 未活用労働を含む就業状態別15歳以上人口及び未活用労働指標の推移

		実数 (万人)							割合 (%、ポイント)				
		15歳以上人口	労働力人口	就業者	うち追加就労希望就業者	失業者	うち完全失業者	非労働力人口	うち潜在労働力人口	未活用労働指標1 (LU1)	未活用労働指標2 (LU2)	未活用労働指標3 (LU3)	未活用労働指標4 (LU4)
実数	2019年平均	11097	6928	6746	182	182	165	4168	39	2.6	5.3	3.2	5.8
	2020	11093	6917	6706	229	211	192	4175	44	3.1	6.4	3.7	7.0
	2021	11064	6917	6703	227	214	195	4147	39	3.1	6.4	3.6	6.9
	2022	11017	6911	6713	195	198	179	4105	35	2.9	5.7	3.4	6.2
	2023	10997	6936	6738	190	198	176	4061	36	2.9	5.6	3.4	6.1
対前年増減	2019年平均	-3	66	68	-1	-3	-4	-69	2	-0.1	-0.1	0.0	-0.1
	2020	-4	-11	-40	47	29	27	7	5	0.5	1.1	0.5	1.2
	2021	-29	0	-3	-2	3	3	-28	-5	0.0	0.0	-0.1	-0.1
	2022	-47	-6	10	-32	-16	-16	-42	-4	-0.2	-0.7	-0.2	-0.7
	2023	-20	25	25	-5	0	-3	-44	1	0.0	-0.1	0.0	-0.1